



第3回 全国高校生 SBP 交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～

2018

8.17 (金) 【会場】 皇學館大学・しんみち商店街

18 (土) 【会場】 皇學館大学

三重県立相可高校
高校生レストラン「まごの店」

主催者 あいさつ



「第3回 全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。

本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、平成25年度より毎年1回実施してまいりました。

開催当初は、社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などいくつかの課題があり、開催自体その意義を問う必要がありました。そこで最初の3年間は、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」と銘打ち、本フェアの前身をスタートさせました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、一昨年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。

そして嬉しいことに、前回より本フェアが文部科学省の共催事業となり、より多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、第3回を開催する運びとなりました。

今回のフェアには全国から28団体が参加し、その企画・進行・案内は三重県立相可高校生産経済科・南伊勢高校SBP・松阪商業SBPが担当し、皇學館大学生がその裏方をサポートするという、生徒や学生主体のフェアです。

～高校生の伸びしろは、そのまま日本の伸びしろだ！～ という言葉を胸に私たちは、地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を全員で、全力で、温かく育てていきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くの方々には感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

SBPとは

Social Business Project（ソーシャルビジネスプロジェクト）の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には、高校生が地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業など）と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取り組みを、地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。今、この地域に根ざした取り組みが全国に広がっています。

主催

未来の大人応援プロジェクト実行委員会

委員長	岸川 政之	一般社団法人 未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部教授 百五銀行地域創生部 顧問
副委員長	中野 拓治	琉球大学農学部教授（放送大学客員教授）
委員	森山 隆弘	三重県立相可高等学校 校長
委員	伊藤 隆之	三重県立南伊勢高等学校 校長
委員	河北 冠	三重県立松阪商業高等学校 校長
委員	新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 学部長
委員	徳田 嘉美	三重県教育委員会 高校教育課課長

共催

文部科学省

後援

内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、農林水産省、厚生労働省、経済産業省、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢度会ロータリークラブ、伊勢銀座新道商店街振興組合

協力

株式会社赤福、アドビ システムズ 株式会社、株式会社アンシャンテ、有限会社壹貳参、NT GROUP、株式会社 NTT ドコモ、株式会社 O.R. コーポレーション、株式会社ゲイト、公益財団法人修養団、株式会社チェンジ、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社豊田自動織機、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社、富士ゼロックス三重株式会社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、三菱商事株式会社、株式会社レオパレス 21

記録・演出

北出 正之（株式会社百五銀行総務部、一般社団法人日本写真学会会員）
皇學館大学（大学生テレビ局）、祭式研究会、茶道部、放送研究部、よさこい部“雅”

企画・運営 スタッフ

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

北川 清生、江角 悠太、太田 憲明、檜木 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓未、中村 武弘、山岡 茂治、中沢 仁

相可高等学校生産経済科

中川 明寿香、山田 菜々子、太田 紬、坂 綾乃、齋藤 永実奈、近藤 華衣、坂本 凜、西村 鮎、山本 仁奈、向井 沙弥

南伊勢高校SBP

上村 駿介、三好 ともる

松阪商業 SBP

中谷 旭斐、山中 彩、中村 菜月、沖 果歩、大家 康那

皇學館高等学校

黒田 結規、村松 凜香、野間 莉生、山本 さくら

皇學館大学

森下 瑠奈、石原 悠佑、松下 英規、福田 拓海、加藤 総心、大辻 航、水谷 将隆、前川 健太郎、福岡 優希、岡野 雄、北岡 真、酒徳 日向、高山 詠史、辰己 航平、藤枝 史弥、松本 侑晟、山岡 数馬、中西 勇斗、増田 大輝、奥 梨沙、奥西 晃太、亀井 翔太、濱谷 尚輝、古市 一起、堀口 綾香、森谷 俊介、山本 和希、奥中 健太、濱地 達也、姫子 松勇成、古野 純平、山本 創士、川原田 陽、坂井 淳一郎、喜畑 玲音、宮澤 はるひ、濱村 航貴、田畑 海音、山光 宇宙、中瀬 雄太、中川 航輔、佐野 紅葉、金子 敦哉、川添 敦也、森田 裕介、小西 咲希、樋口 明日香、小久保 祐里、藤本 恭加、清水 唯斗、千綿 奎登、中西 天帆、南里 方紀、藤田 悠輔、水野 賢直、山下 洗樹、脇田 拓海、片山 智貴、清水 葵、城下 杏理

これまでのSBP協賛企業様一覧（50音順です。）

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、株式会社アイブレン、アドビ システムズ 株式会社、株式会社アンシャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing（ウエルビーイング）、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うおすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社 NTT ドコモ、株式会社 O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット（せんばいの店）、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グループ合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケッコ共和国、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、日経三勢会、万協製菓株式会社、番頭舎、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン）、富士ゼロックス三重株式会社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マスヤ、株式会社マスヤグループ本社、三菱商事株式会社、みらいこ株式会社、株式会社レオパレス 21、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重信用金庫相可支店、株式会社ミエライス、有限会社山春商店、ユナイテッド三重株式会社

2018
8.17(金)・18(土)

第3回 全国高校生SBP交流フェア ～学生の学生による学生のための祭典～

料理部門

SBPチャレンジ部門

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”をしながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Skincare」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。

『全国高校生“SBP”交流フェア』

料理部門

SBPチャレンジ部門

主催：未来の大人応援プロジェクト実行委員会

共催：文部科学省

三重県立相可高校 生産経済科・食物調理科、南伊勢高校SBP、松阪商業SBPの生徒達と皇學館大学の学生スタッフにより、本フェアの企画、運営を行い、企業、行政などの各種団体が支えています。

共催・後援 協力

産・官・学・金・言（産業界・行政・学校・金融・マスコミ）

料理部門

料理に取り組む日本全国の高校生が、本フェアの開催期間中に高校生レストラン「まごの店」や相可高校に移動して、同校食物調理科調理クラブとの料理交流を行います。

参加各校が交流を深め、ホスピタリティーあふれる人として成長する機会になることも大きな目的の一つです。



SBP チャレンジ部門

色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的としており、商品や取り組みの完成度等を評価します。

成績評価について

全参加団体（オーラルセッション（口頭）、ポスターセッション（掲示））の取組に対し、『極』（90点以上）、『輝』（75点以上、90点未満）、『雅』（50点以上、75点未満）の講評を行います。そのうえで、最も点数の高かった団体に文部科学大臣賞、次点に三重県知事賞を授与します。

『文部科学大臣賞』

『三重県知事賞』

『特別賞』……… オーラルセッション及びポスターセッションに参加した団体の中から、各企業等の基準・観点で選ばれた団体に対して、以下の各賞を授与します。賞の選定は、協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとしますので、重複して賞を受ける団体があります。

審査委員

No	氏名	所属等	特別賞
1	荒木 康行	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー（元 TBS 番組プロデューサー）	角田陽一郎賞
3	小村 俊平	株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー 教育イノベーション推進課 課長	ベネッセ賞
4	小役丸 秀一	株式会社グラノ 24K 代表取締役	グラノ 24 K 賞
5	武井 史織	アドビ システムズ 株式会社 Creative Cloud コミュニティマネージャ	アドビ賞
6	多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ課長	
7	鉄矢 悦朗	特定非営利活動法人東京学芸大子ども未来研究所 所長	東京学芸大学賞
8	辻井 伸文	三重県教育委員会 高校教育課 指導主事	
	徳田 嘉美	三重県教育委員会 高校教育課 課長（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員）	
9	新田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 学部長（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員）	皇學館大学賞
10	村上 憲郎	前 Google 日本法人名誉会長／株式会社村上憲郎事務所 代表取締役	
11	藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
12	森下 瑠奈	皇學館大学 現代日本社会学部 3年	
	石原 悠佑		
13	于 洋	華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン） 渉外・広報本部 渉外・CSR部 シニアマネージャ	ファーウェイ賞

※敬称略、50音順

特別賞審査員

No	氏名	所属等	特別賞
1	黒田 美和	株式会社プラトンホテル 専務取締役 支配人	プラトンホテル 四日市賞
2	小谷野 由紀	三菱商事株式会社 中部支社長代理（兼）総務部長	三菱商事賞
3	小山 巧	三重県度会郡南伊勢町 町長	SBP 特別賞 （南伊勢町長賞）
4	須崎 充博	三重県伊勢市役所産業観光部 理事	伊勢市長賞
5	五月女 圭一	株式会社ゲイト 代表取締役	ゲイト賞
6	武田 数宏	公益財団法人修養団 常務理事 伊勢青少年研修センター所長	SYD賞
7	田村 謙二	有限会社壹貳参 代表取締役社長	壹貳参賞
8	野呂 厚史	株式会社アンシャンテ 代表取締役	アンシャンテ賞
9	濱田 典保	株式会社赤福 顧問	赤福賞
10	福留 大士	株式会社チェンジ 代表取締役兼執行役員社長	チェンジ賞
11	古川 雅章	株式会社 O.R. コーポレーション 代表取締役	O.R. 賞
12	山本 哲史	株式会社 NTT ドコモ ライフサポートビジネス推進部 教育・キャリアビジネス担当部長	ドコモ賞
13	吉村 武洋	株式会社レオパレス 21 賃貸事業部 P C R 推進部 西日本営業副部長	レオパレス 21 賞

※敬称略、50音順

DAY 1 (共通日程)

平成 30 年 8 月 17 日 (金)

SBPチャレンジアワード & 伊勢銀座新道商店街での展示・販売交流イベント の実施

※第1次審査で選ばれた19団体によるポスターセッションを行い、翌日に行うオーラルセッションに参加する6団体を選ぶ。
また、商店街を舞台に団体や開発した商品などの発表・販売を通して交流を深める。

【SBPチャレンジ部門】 & 【料理部門】

- 11:00 ~ 受付開始** ※受付会場：皇學館大学 2号館1階玄関ホール
ポスターセッションのブース設営 ※会場：2号館1階211、212、2階221教室
※受付終了後、(211：Aグループ、212：Bグループ、221：Cグループ)にてブース設営
- 11:30 ~ ポスターセッション審査員受付・集合** ※審査員打合せ場所：2号館3階233教室
※実行委員中野先生が陪席
- 12:40 審査員 オープニング会場移動**
- 12:45 祭典 皇學館大学祭式研究会によるフェア成功祈願祭をおこないます。**
- 13:00 ~ オープニング** ※会場：記念講堂2階(講堂)
- ・主催者 挨拶 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之
 - ・後援団体代表 挨拶 皇學館大学 学長 清水 潔
 - ・オリエンテーション、審査委員紹介、スタッフ紹介(高校生、大学生)、日程確認、諸連絡等
- 13:30 ~ ポスターセッション 19 団体** ※参加団体の説明担当者は、2号館1、2階各室に移動
- 審査委員は3グループに分かれ、それぞれの審査担当団体(A、B、Cグループ)の審査をする。
最初、説明(1ブースに付：説明(4分)、質疑(4分)計8分、各グループ所要時間、約1時間)を受け、審査する。
※審査対象ブースの説明は約1時間で終わるので、15:30までは他のグループのブースを自由に見学してもよい。
※審査結果報告はタブレットで行い、入力締切時刻は15:30とする。
※なお特別賞(企業賞など)の審査員は、興味のある団体を自由に回ってもよい。
- ※ブース説明者以外の参加者等は、昨年のフェアの映像等の視聴及び各団体展示ブースの見学あるいは「夜の市」の準備。(高校生スタッフが誘導)
- 15:30 ポスターセッション終了** ※参加者は、「夜の市」会場の商店街へバス等で移動
- 16:00 ~ ポスターセッション審査開始** ※会場：2号館3階233教室 ※実行委員中野先生が陪席
※審査終了(17:30メド)後、販売交流会場の商店街へバス等で移動
- 16:30 ~ 全国高校生SBP販売交流会 開始** ※夕食(会場にて、各自自由に)
※オーラルセッション出場団体の発表(ポスターセッション審査の上位6団体)ポスターセッションにより、翌日のオーラルセッション参加が決まった上位6団体に対しその結果を18:30「夜の市」本部にて通達します。
- 20:15 ~ 販売交流ブースの撤収** ※各団体は展示ブースの撤収が終わり次第宿舍へ移動
- 20:30 終了**
- 21:00頃 宿泊施設到着 (公財) 修養団伊勢青少年研修センター**

DAY 2

平成 30 年 8 月 18 日 (土)

※午前中は【SBPチャレンジ部門】と【料理部門】に分かれて研修(ワークショップ)し、午後からは皇學館大学に合流してSBPチャレンジアワードに参加する。

【SBPチャレンジ部門】 研修(ワークショップ) & オーラルセッション の実施

※会場：皇學館大学(伊勢市) 進行：未来の大人応援プロジェクト実行委員会
午前中は、希望する各種ワークショップに参加し、午後からは前日のポスターセッションで選ばれた6団体のオーラルセッションに参加する。また、審査員はその内容を審査し、各賞を決定する。

- 7:00 ~ 朝食**
- 7:45 ~ 宿泊施設出発 ワークショップへの参加準備**
- 8:40 ~ ワークショップ** ※事前に登録したワークショップ会場に移動

WS1 エコキャップアート制作 <学生食堂2F> (株)レオパレス21 提供

ペットボトルのエコキャップを使って壁画を制作します。アート制作を通じて、商品・サービスの販促意識の向上、環境意識の向上、ボランティア（寄付）意識の向上を目的に、販促・環境・協働を学んでいきます。
制作した壁画は食堂（大学生レストラン）に飾られ、多くの方が目にする作品になります。

WS2 Adobe Design Jimoto x SBP ワークショップ <7号館 711 教室> アドビ(株) 提供

～出逢いを繋げるオリジナルデザイントートバックを作ろう！～
全国から参加する高校生みなさんと一緒に、アドビのクリエイティブツール Adobe Creative Cloud を活用して、『出逢い』をテーマに、ここでしか作れないオリジナルデザインのトートバック制作を行います。制作の過程を通して、デザインの力で出来ることを体験し、さらにパワーアップできるクリエイティブな人材の育成を目的としています。

WS3 SDGsを知るから行動へ <7号館 712 教室> (株)ゲイト・未来教育デザイン Confeito 共同提供

あなたは今、何のために一生懸命勉強していますか？答えのひとつにSDGs（国連の持続可能な開発目標）があります。このSDGsをカードゲームを通じて理解していきます。チョコレートや洋服といった身近なものを例に、皆さんの生活とSDGsのつながりを実感し、参加者一人ひとりが今日からできる課題解決に向けての行動を一緒に探していきます。

WS4 動画作成 <7号館 741 教室> 実行委員会提供

各団体の生徒が4、5人のグループを作り、約1分間のPR動画をスマートフォンで撮影をします。
グループで交流しながら1つのものを協創することで繋がりを深めてもらい、自身の活動のモチベーションを高めてもらうこと、そして自身の活動を再定義して、進化させるきっかけをつくるのが目的です。今回は動画の簡易編集もおこないます。

9:30～ SBPセミナー

10:30 (1時間程度SBP活動の紹介等を行う)

※会場：6号館2階622教室 ※実行委員中野先生が進行

11:40 ワークショップ終了、撤収**12:00～ 昼食**

(高校生レストラン「まご弁当」) 料理部門で調理された「まご弁当」をみんなでいただきます

※会場：皇學館大学学生食堂

13:00～ SBPチャレンジアワード開会式

※料理部門参加も含め全体参加 会場：記念講堂

開会御挨拶 文部科学省 生涯学習政策局参事官(連携推進・地域政策担当) 伊藤史恵

13:15～ オーラルセッション 参加団体によるプレゼンテーション

発表団体：6団体(エントリー団体総数：19団体) ※団体ごとに10分間の発表を行い、各審査委員から10分間の質疑を受けます。

16:00 講演 村上憲郎氏 前Google日本法人名誉会長/株式会社村上憲郎事務所 代表取締役 「グローバル時代を生き抜く」**17:00～ 結果発表・表彰**

※進行：未来の大人応援プロジェクト実行委員会

【成績評価について】最も点数の高かった団体に文部科学大臣賞、次点に三重県知事賞を授与する。

18:50～ 閉会式

※進行：未来の大人応援プロジェクト実行委員会

※閉式の辞(岸川実行委員長)

19:00～ バイキング交流会(大学生レストラン)

※会場：皇學館大学学生食堂

21:00 全日程終了(希望者のみ宿泊(公財)修養団伊勢青少年研修センター)**【料理部門】 相可高校生との料理研修参加**

※会場：三重県多気町(高校生レストラン「まごの店」、相可高校)

全国の料理を学ぶ高校などが、多気町にて相可高校食物調理科を中心に料理研修を行う。

6:00～ 朝食**6:40～ 第1会場(相可高校食物調理科調理実習室)へ移動****7:20～ 調理交流開始(メニュー：参加者全員の昼食弁当)**

※村林教諭による調理アドバイスにより、参加団体生徒らが料理を通して交流を図る。昼食会場へ「まご弁当」を搬入

9:30～ 高校生レストラン「まごの店」に移動し、レストラン研修**11:00～ 大学学生レストラン(皇學館大学)にバスにて移動し、レストラン研修****12:00～ 昼食&サービス研修(まご弁当のプレゼンテーション&サービスなど)**

※会場：皇學館大学学生食堂

13:00～ SBPチャレンジアワード開会式に参加

以下【SBPチャレンジ部門】スケジュールに同じ

参加校 一覧

日本全国から 多くの高校生たちが参加!!

-
- 1 北海道留萌高等学校
情報ビジネス科
- 2 青森県立鱒ヶ沢高等学校
鱒ヶ沢高校SBP研究会
- 3 青森県立中里高等学校
中里高校SBP同好会 (青森津軽SBP)
- 3 青森県立木造高等学校深浦校舎
深浦町探究愛好会ふかうらSBPチーム (青森津軽SBP)
- 4 山形県立酒田東高等学校
課題研究グループ (米こーラボ)
- 7 富山県立滑川高等学校
ぴーりっちゅ
- 11 中部大学春日丘高等学校
インターアクトクラブ
- 13 滋賀県立八幡商業高等学校
ビジネス研究同好会
- 18 大阪市立鶴見商業高等学校
地域連携プロジェクト実行委員会
- 20 島根県立吉賀高等学校地域クラブ
なか吉プリン
- 21 愛媛県立大洲農業高等学校
大農蕎麦'S (そばーず)
- 19 和歌山県立神島高等学校
商品開発プロジェクト
「神島屋」
- 5 仙台市立仙台商業高等学校
商業情報部
- 6 神奈川県立川崎高等学校
養蜂部
- 8 静岡県立駿河総合高等学校
駿河WANプロジェクト
- 9 静岡県立浜松城北工業高等学校
料理調理研究部
- 10 浜松学芸中学校・高等学校
はままつ胸キャンププロジェクト 第4弾
- 12 愛知県立高浜高等学校
高浜高校地域活動部SBP
- 14 三重県立松阪商業高等学校
松阪商業SBP
- 15 三重県立相可高等学校 生産経済科
NPO 法人植える美ing
- 16 三重県立相可高等学校 食物調理科
調理クラブ
- 17 三重県立南伊勢高等学校南勢校舎
南伊勢高校SBP
- 22 沖縄県西原町
NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

	ブロック	高等学校名	参加するイベント
1	北海道・東北	北海道留萌高等学校 情報ビジネス科	“夜の市”出店
2	北海道・東北	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校SBP研究会	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
3	北海道・東北	青森県立中里高等学校 中里高校SBP同好会（青森津軽 SBP）	
	北海道・東北	青森県立木造高等学校深浦校舎 深浦町探究愛好会ふかうらSBPチーム（青森津軽 SBP）	
4	北海道・東北	山形県立酒田東高等学校 課題研究グループ（米こーラボ）	SBP チャレンジ部門
5	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
6	関東	神奈川県立川崎高等学校 養蜂部	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
7	中部	富山県立滑川高等学校 ぴーりっちゅ	
8	中部	静岡県立駿河総合高等学校 駿河WANプロジェクト	
9	中部	静岡県立浜松城北工業高等学校 料理調理研究部	
10	中部	浜松学芸中学校・高等学校 はままつ胸キャンププロジェクト 第4弾	
11	中部	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	
12	中部	愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動部SBP	
13	近畿	滋賀県立八幡商業高等学校 ビジネス研究同好会	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
14	近畿	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業SBP	SBP チャレンジ部門
15	近畿	三重県立相可高等学校 生産経済科 NPO 法人植える美 ing	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
16	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ	料理部門 “夜の市”出店
17	近畿	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校SBP	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
18	近畿	大阪市立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト実行委員会	“夜の市”出店
19	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店
20	中国・四国	島根県立吉賀高等学校地域クラブ なか吉プリン	
21	中国・四国	愛媛県立大洲農業高等学校 大農蕎麦‘S（そばーず）	SBP チャレンジ部門
22	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS ² BP（西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト）	SBP チャレンジ部門 “夜の市”出店

オープン参加団体

- 23. 三重県立四日市商業高等学校
- 24. 三重県立伊勢高等学校
- 25. 三重県立伊勢工業高等学校
- 26. 皇學館高等学校

- 27. 三重県立志摩高等学校
- 28. 京都府立海洋高等学校
- 熊本県立天草拓心高等学校
- 大田保健大学（韓国）

北海道留萌高等学校 情報ビジネス科

道内最多の自校開発商品数！
～関係人口の増加、継続的な「ふるさと」との
結びつきを目指して～

本校は、平成30年度の学校統合により、「情報ビジネス科」「電気・建築科」「普通科単位制」の3科を併置する学校として新たにスタートしました。「情報ビジネス科」が平成16年度より行っている地域資源を活用した商品開発は、平成29年度末で道内最多の23品目となり、現在でも9品目が各店舗で常時販売しています。

今年度より、新たに設立された「民間支援組織(地域の個人・企業・NPO)」と「留萌市(地元若者人材育成事業)」協力のもと、3年計画で「関係人口(地域と関わる人)」に着目し、地域ビジネス創出・地域活性化を目指した次の3つを柱として活動しています。

- ①地元食材を用いた商品開発など「ビジネスの手法を用いた地域課題の解決」
- ②地域の可能性を広げる「ビッグデータの活用によるデータ分析」
- ③「キッズビジネスタウンの運営」による仮想地域社会での実践と検証

さらには、SBPの交流を通し「ふるさと」の継続的な結びつきを目指していきたいと思っています。



青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校SBP研究会

鱒ヶ沢町を100年後も残すために

わたしたち鱒ヶ沢高校SBP研究会は今年で3回目の参加となります。

これまで「地元特産品のPR・雇用の場の創出・自分達で取り組む」の3つを柱に活動を行ってきました。その中でも愛知県立高浜高等学校と一緒に取り組んだ「力士くんおやき」や地元生産者さんと共同開発したオリジナル商品「ポーくんジャーキー」・「イカタンスルメ」は特に好評を得ています。

今後は、「0歳からのSBP」をテーマに、みんなで地域を盛り上げていく活動を目指しており、幼稚園などでの「地域活性化マン戦隊ショー」や中学生などと一緒に取り組む商品開発、さらに高齢者のかた向けに行う「困りごと応援隊」の活動を行っていきたくと考えています。また、販売会やプレゼンを通じ、外部に対しても積極的にPRしていきたいと思っています。

町の高齢化や人口減少のスピードを考えると急いで取り組まなければならないことが多いのですが、あせることなく、みんなで楽しみながら少しずつ形にしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



青森県立中里高等学校 中里高校SBP同好会（青森津軽SBP）

地域を元気に！中高を元気に！ 自分達を元気に！

わたしたちの学校は津軽北部地域の拠点校として、昭和51（1976）年に開校し、今年で42年目を迎えました。開校当初は約360人の生徒を数えましたが、過疎・少子高齢化による人口減少の波を強く受け、現在では全校生徒47人と少なくなり、学校のある中泊町も私たちが生まれた2000年の人口は15,325人を数えましたが、現在の2018年では11,272人まで減少しています。

そこで、祭りへの参加やボランティア、清掃活動等、地域との連携を深め、地域からも信頼される高校を目指し、日々努力しています。

昨年は、町の特産品津軽海峡メバルを型取った「メバ焼き！」を開発し、今年の7月現在までに15,500個を売り上げるヒット商品になりました。3年目となる今年度は、青森県を代表する青森ねぶた祭へ参加し中泊町と中里高校のPRをするために「メバルねぶた」の制作をしました。地域を元気に！中高を元気に！自分達を元気に！を合い言葉に頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願いします。



青森県立木造高等学校深浦校舎（青森津軽SBP） 深浦町探究愛好会ふかうらSBPチーム

やるぞ！ふかうらSBP！！ ～『そうだ！深浦へ行こう！』と言ってもらえるまで～

深浦町は青森県の西南部、秋田県との県境に位置し、日本海の海岸線沿いに広がる町です。世界自然遺産白神山地や、青池を有する十二湖国定公園、夕日の絶景スポット千畳敷海岸などの恵まれた自然環境のほか、人気のローカル鉄道五能線が走るなど、観光資源も豊富です。また、マグロや山菜などの山海の幸、雪の下で寝かせることで甘味を引き出した雪人参など、「^{うまいもの}んめもの」もいっぱいです。

深浦校舎はそんな深浦町で唯一の高校です。全校生徒58人と小規模ですが、観光客に町をガイドする「駅からハイキング」など、地域と連携した活動に積極的に取り組んでいます。さらに、町内にある河川の流倒木をチップ状にして白神山地に撒く遊歩道整備事業は、防災・環境保全・観光振興に繋がる活動として評価され、日本水大賞未来開拓賞に輝きました。

このような活動の中でも、町を支える「観光」に注目して地域の活性化を目指すのが「ふかうらSBP」です。今年度も深浦の「いいもの」「んめもの」を新たに発掘・厳選した、セレクトギフト第2弾を販売しています。また、高浜高校SBPさんのご協力で完成した「マグロ焼き」の販売に取り組んでいます。地域資源を活かした様々な活動を展開し、深浦町内では深浦の魅力再発見を、町外では深浦に来ていただけるきっかけ作りを引き続き目指しています。



山形県立酒田東高等学校 課題研究グループ (米こーラボ)

「うめもんけ」

酒田は日本海に面した庄内平野の北側に位置する、自然豊かな地域です。豊富な魚介類やお米、庄内メロンやサクランボといった果物など、おいしい食べ物に恵まれた地域です。歴史的には、江戸時代に北前船の寄港地であり、大変栄えた地域でもあります。しかし、今、酒田は人口減少と少子高齢化が予測されている地方都市でもあります。私たちはこの酒田の良さを自分たちで見つけ、再発見し、故郷を誇れるものになりたいと思い、この活動を始めました。

酒田特産のおいしいお米である庄内米でつくったお菓子を製造・販売している地元企業「酒田米菓」とコラボし、私たちのオリジナルのアイデアによる商品開発をしていきます。また、SNSを活用した広報活動、地元のお祭りでの出店を企画しています。

スタートしてからまだ、日も浅く、この交流会を通して、様々な地域の仲間と関われることを楽しみにしています。



仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部

仙台城復元で地域の魅力度 UP!

仙台商業高校は、男子校である仙台商業高校と女子高である仙台女子商業高校が合併し、今年で10年目を迎えました。部活動が盛んで運動部・文化部ともに全国大会に出場する部活が多くあります。勉強面では商業に関する専門科目が多いため、全商協会主催の検定で1級を三種目以上取得する生徒が大半です。

私たち商業情報部は商品開発や販売活動などを行い、地域に貢献できるよう日々研究活動に励んでいます。販売活動で得た売上金の一部は「SENDAI 光のページェント」や被災地に毎年寄付しています。

今までは地域活性化のため「地域ブランディング」「ゆるキャラの活用」「観光客誘致」などの研究活動を行ってきました。現在の目標は、仙台市の課題を解決するために仙台城を復元することです。そのために「復元支援マーク」の作成や商品開発などを行いました。そしてこのマークを商標登録し企業とライセンス契約を結び、復元資金としての商標権使用料を受け取ることも考えています。これからも地域の課題を解決し、仙台市を魅力あふれる地域にしていけるよう研究活動に励んでいきます。



神奈川県立川崎高等学校 養蜂部

めざせ独立採算！ ミツバチでつなぐ川崎の和

本校は神奈川県川崎市南部にあり、京浜工業地帯とよばれる全国でも有数の工業地帯。そのような環境で、平成18年に本校の敷地内にニホンミツバチが巣を作っているのを発見したことが、養蜂活動のきっかけでした。

都市部の養蜂でも、5～9月のシーズンで2週間に1度のペースで採蜜（蜜を採ること）ができます。この機会を活用して、地域の方を呼び採蜜体験会を行ったり、他の部活や川崎区役所と協同して「かわさきハニーフェスタ」を開催したり、地域の和を広げています。

さらに、地元の和菓子店と協力して、県産産蜂蜜を使用したどら焼きを販売してもらっています。定期的に蜂蜜を和菓子店に卸すことによって、養蜂部の活動費を賄う独立採算も目指しています。

ミツバチが花から花へ蜜や花粉を集め飛び回することで、花たちも受粉ができ、緑の増加につながります。私たちの活動で、この工業地帯に多くの花を咲かせることができます。どら焼きの蜂蜜販売を通して自立的な活動を行うことが、自立的・継続的な地域活性化・緑化活動につながると信じて頑張っています。



富山県立滑川高等学校 ぴーりっちゅ

スキンケアを通して 地域産業の発展に貢献します。

女子学生の肌の悩みを解決したい！という思いから始まった、私たち滑川高校薬業科と県内の製薬メーカー前田薬品工業（株）との共同開発プロジェクト「ぴーりっちゅ」は、活動2周年を迎えました。昨年5月に販売を開始した第1弾の化粧水とリップに加え、今年は第2弾の乳液の販売を開始し、富山県内の様々な売り場で販売活動を行っています。

商品のこだわりは富山県産の原料を使用しているところです。地元滑川の海洋深層水や城端の加水分解シルク等、自然豊かな富山県産材にこだわっています。現在は第3弾として来年2月に発売予定のフェイスマスクの商品評価を行っています。

また、本校の海洋科と連携して、滑川高校産のサクラマスを育てるプロジェクト「滑高301号」も行っています。富山県の特産品である「鱒寿司」を滑高オリジナルブランドのサクラマスで作り、文部科学大臣に献上するプロジェクトです。薬業科ではヘマトコッカス藻を用いた色揚げ飼料を開発中で日々改良を続けています。これからも地域の方々のご協力をいただきながら連携した取り組みを積極的に行っていきたいと思います。



静岡県立駿河総合高等学校 駿河WANプロジェクト

高校生ならではの発想で “しぞ〜か”の魅力を発信

駿河WANプロジェクトでは、授業で学んだ商業の知識と高校生ならではの発想で、地域の課題を解決することを目標に取り組んでいます。

これまで、おいしいお茶の淹れ方講座、復興支援活動、ゆるキャラ「トロペー」のPR活動、オリジナル商品(ティーモ・国産紅茶飴)の開発、ちゃーまる・わんまる焼の販売などの活動を行ってきました。

現在、私たちは、NPO法人丸子まちづくり協議会の方と連携し、地域の課題解決のため、地域の魅力の探索と発信に力を入れています。

H30年度は、①ちゃーまる・わんまる焼の開発 ②雨水・洪水対策 ③登呂遺跡・トロペーの広報活動に重点を入れています。なお、ちゃーまる焼は、丁子屋の自然薯とむかごを使った商品で、わんまる焼は黒ハンベと久能生姜を使った商品で、ともに地域の特産品を使っています。

イベントへの出店(販売)に関しては、丸子まちづくり協議会と連携することで、露天商の出店許可もクリアし、保健衛生士管理のもと販売活動を実施し、高校生ならではのアイデアと地域との連携により、活動の幅が広がりを見せています。



静岡県立浜松城北工業高等学校 料理調理研究部

城北ジャムを作って、 駐車場の悪臭問題を解決しよう！

私たちの学校は、「地球に優しいエンジニアの育成」を学校の教育テーマに掲げ、様々な活動に取り組んでいます。環境部と社会体験活動参加者によるゴミの減量活動や中田島砂丘でのウェルカメクリーン作戦への取り組みは20年以上続いています。

リサイクルステーションも充実していて、校内はいつもきれいに整えられていますが、70年近い歴史があるため、環境活動のシンボルでもある「城北の森」だけでなく様々な樹木があり、自然豊かでもとても落ち着ける環境です。しかし、駐車場と工業棟の間にある大きなヤマモモの木の周辺は、毎年落実した果実が地表で発酵し、異臭問題が深刻です。すばらしい自然環境も放置すればゴミ問題や環境悪化問題になってしまいます。そこで、料理調理研究部の環境活動として「ヤマモモの落実を防いで美味しく有効活用しながら、環境整備できる方法」を模索することにしました。研究1年目の今年は、収穫したヤマモモを加工・販売することで、私たちの取り組みを少しでも多くの方に知っていただければ嬉しく思います。



浜松学芸中学校・高等学校

はままつ胸キュンプロジェクト 第4弾

「浜松注染 浴衣プロジェクト」

私たちの浜松学芸中学校・高等学校は、静岡県浜松市の中心部にある芸術科を有する中高一貫校です。高校は、学力と人間性を伸ばす普通科と、美術・書道や音楽・電子音楽の4つの課程からなる芸術科があり、学と芸の融合した学校です。

私たちは、4年前から、地域の魅力の発信や課題の解決に取り組む地域調査活動を行ってきました。この活動を「胸キュンプロジェクト」と命名し、浜松市の公認活動として任命されるまでに発展しました。今回は、地元注染浴衣の魅力発信のために「浴衣プロジェクト」の活動を立ち上げ、地域の浴衣メーカーと協働してポスターやカタログフォトブックの製作を受注しました。より多くの方に着用してもらえるよう、自分たちの活動である「胸キュンポスター」の要素をふんだんに盛り込みました。さらに、注染浴衣の生地を使いパターンオーダーシャツのブランドを立ち上げ、注染浴衣をもっと日常に取り入れる仕組みを考えました。今後、このシャツブランドの拡大に挑戦したいと考えています。浜松の魅力を世界に発信する私たちの活動は、まだまだ続きます。



中部大学春日丘高等学校

インターアクトクラブ

目の前の人の笑顔のために

私たち中部大学春日丘高校インターアクトクラブは部員数約65名、年間活動数は300回を超えるボランティアを行う部活動です。主な活動場所は障害者施設、高齢者施設、児童養護施設、学童保育、また地域のお祭りなどです。活動内容は手遊びや体遊び、療育、工作教室、お祭りの運営、東北支援商品や障害者就労支援商品の販売、フェアトレード商品の販売、ゲームコーナーの出店、ダンスパフォーマンスというように、多様な活動を行っています。

今までの活動を通して、利用者さんからたくさんのありがたい言葉ももらいました。しかし、利用者さんはありがたいと言われる機会が少ないということに気づきました。利用者さんに本当の意味でのありがとうを届けたい。そんな思いからいっぱいありがとうカンパニーは始まりました。

お手玉やメモ帳などを利用者さんから作ってもらい、それを地域のイベントで販売します。その売り上げで、利用者さんが必要な物を購入してお返しします。また、一部商品は子育て支援施設などにプレゼントし、利用者さんと児童との交流の橋渡しとします。



愛知県立高浜高等学校 高浜高校地域活動部SBP

「Sの絆焼き」で世界をつなげたい！

高浜高校地域活動部SBPでは、昨年度から「Sの絆焼き型」の製作・販売に取り組んできました。「Sの絆焼き型」とは、南伊勢高校さんの「たいみー焼き」からヒントを得た、オリジナルキャラクターたい焼き型です。この焼き型は、依頼されたデザインを瓦職人（鬼師）が立体的な形にして、それを基に、こちらも市の主要産業である自動車部品メーカーが金型を彫り込むという工程を経て製作しています。現在までに、青森県の3つの高校に計5台販売してきました。さらに、たこ焼き屋さんへの販売や韓国への営業活動を行うなど活動の幅を広げています。

また、今年度から新しくセレクトギフトの製作に取り組みはじめました。私たちは、地元の名産品や産業を知ってもらうために、既存の商品だけではなく、地元の企業とコラボレーションした新しい商品にも挑戦しています。そして、製作したセレクトギフトを高浜市のふるさと納税の返礼品にすることで、新たなビジネスモデルの創出を目指しています。これからも、SBPの活動を通して、高浜市の魅力を全国に発信していきたいと思えます。



滋賀県立八幡商業高等学校 ビジネス研究同好会

『近江商人再生プロジェクト』

このプロジェクトの目標は、①伝統ある商業高校であり「近江商人の士官学校」といわれる本校の生徒に、近江商人の精神や商法等を実践的に体得させる。②「三方よし」の精神を大切にすること、なかでも「世間よし」（社会貢献）の重要性について学ばせる。③生徒自らが「生きた商業活動」にふれ、商業・経済活動の重要性を学ぶ中で、将来、全国ひいては世界で活躍する人材としての資質・能力を身に付けさせる。の3つです。

6回目の今年度のプロジェクトは25名の希望者が参加し、夏休みの一週間、富山、新潟、福島、栃木、静岡等の本県と関係のある市町を訪問し、近江商人の手法である「産物廻し」を体験します。さらに、本県の特産物とともに富山、新潟、福島の特産物を仕入れ、販売することで、その収益金を震災復興等社会福祉支援に寄付し、「三方よし」の「世間よし」につなげます。また、各訪問地では、地元の人たちや近江商人の末裔、本校卒業生との交流を通し、その地域の文化や経済状況を学びます。

このプロジェクトを通して、社会における商売のあり方について学習をしています。



三重県立松阪商業高等学校 松阪商業SBP

現代の松阪(まっつあか) 商人になる！

地元では松阪のことを「まっさか」とか「まっつあか」と呼びます。その「まっつあか」で地域を元気にし、『現代の松阪商人になる！』という目標を掲げて活動しているのが松阪商業高校SBPです。

松阪といえば「松阪牛」を想像する人が多いと思いますが、三井グループの前身である越後屋を築いた三井高利など、多くの松阪商人(伊勢商人)を輩出した地域でもあります。

私たちは2月9日(金)から2泊3日で「東京で活躍する松阪商人をめぐるツアー」を企画し、松阪商人が活躍した当時に思いを馳せながら、ちくま味噌(竹口家)、三越本店(三井家)、小津和紙(小津家)、三重テラス(三重県のアンテナショップ)など日本橋界隈を探訪してきました。また、文部科学省生涯学習政策局において、SBPの取り組みについてプレゼンテーションも行いました。このような貴重な経験を通じて、地域に貢献できる人材に一步でも近づきたいと思っています。

現在、年末商戦に向けてセレクトギフトに挑戦中です。今秋には本校のHPに掲載する予定ですので、みなさん買ってくださいね！



三重県立相可高等学校 生産経済科 NPO 法人植える美ing

園芸福祉活動を通じたSBPへの取り組み

私たちは地域づくりを目標に園芸福祉活動に取り組み、高校生が主体となった特定非営利活動法人(NPO法人)植える美ingを設立し、運営を行っています。安定した運営を行うには資金も重要です。そこで、地域企業や団体と協働し地域農産物を使った商品開発にも取り組み製薬会社とはコスメ商品、製茶会社とは健康茶やフレーバーティー、呉服メーカーとは農作業服等を企画・開発し完成することができました。

開発した商品の売り上げの一部で園芸福祉活動も充実しています。保育園では花づくりや伊勢茶の普及活動。高齢者施設ではハンドマッサージや庭づくりなどを展開し地域での園芸福祉活動が活性化しています。また、幸福度を数値で表す心理的WELL-BEING尺度調査にも取り組み園芸福祉が幸福感を増やすことも実証することもできました。

私たちのソーシャルビジネスのテーマは幸せです。すべての人が幸せになれる環境づくりを目指し今後も挑戦を続けたいと思っています。



三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ

めざすは「食のプロフェッショナル」！

私たちが目指す夢は、ずばり、「食のプロフェッショナル」。日本一の板前になりたい、自分の店を持ちたい。入学時の熱い思いを糧に、彼らは3年間、この学科で頑張ります。そして、「もっと料理がしたい」生徒たちが集まったのが「調理クラブ」です。

調理クラブでは、2002年に本校と地元多気町が協力してオープンした研修施設「まごの店」を、土・日・祝日のみ営業し、仕入れから調理、接客、経理までを高校生だけで運営しています。地域の食材を使った商品開発やレシピの提案も大切な勉強です。新聞や情報誌などで彼らのオリジナルレシピが紹介され、レシピ本も出版されています。

最近では、地域との交流を大切にしながら、グローバルな場での活動も増え、日本食の普及と国際交流にもつとめています。「高校生国際料理コンクール」での金メダルをはじめ、「ミラノ世界万博」、アメリカで開催された「食の国際会議」、「伊勢志摩世界サミット歓迎レセプション」など、三重県の代表として「三重の食」を世界に発信しました。

高校生の若い力を、全国、世界に向けて発信する大きなチャンスがいっぱい。
まだまだ相可高校調理クラブの挑戦は続きます。



三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校SBP

地域の宝をつかって、 まちづくりに取り組んでいます！

海の幸、山の恵、自然の良さを全身で感じられる南伊勢町に、私たちの学校はあります。しかし、南伊勢町の人口減少は著しく進んでいます。本校では、岸川政之さんの講演をきっかけにまちづくりへの関心が高まり、全国で最初のSBPを発足しました。私たちは、まちの魅力を知り、地元愛を育て、地域資源を生かしたビジネスを立ちあげ、自ら働く場を確保することで、地域に残れる仕組みをつくっていこうと活動しています。

その1つとして、南伊勢町にある特産物の魅力を発信するために、セレクトギフトを作っています。高校生が選んだ町の特産品を1つの箱に詰め合わせたもので、さまざまな工夫と趣向を凝らした商品です。

また、町のゆるキャラ「たいみー」の形をしたたい焼き「たいみー焼き」を販売しています。さらに、地元の小学生にたいみー焼きを使った授業を行い、これからのふるさとを創っていく仲間とともに成長しています。

その他にも、ヒロメという海藻の魅力を広めるプロジェクトや地元の物産イベントでのマグロの解体ショーなど様々な活動をしています。詳しくは高校HPへ。



大阪市立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト実行委員会

地域の活動をもっと区民へ！ “つるりっぷ”とおこなう商品開発！

大阪市立鶴見商業高等学校は、緑豊かな大阪市鶴見区にある商業高校です。私たち、「地域連携プロジェクト実行委員会」は、「鶴見区を元気に！」をモットーに、1～3年生で販売実習を中心に活動をおこなっている学内模擬企業組織です。

昨年は、地域の結びつきを強めるため地元大阪の企業である、伊藤忠食品株式会社、コープさきき事業連合、日本サンガリアビバレッジカンパニーと協力して、新・炭酸飲料「Winspa! ウィンスパークリング」の開発・販売をおこないました。

今年は、大阪市鶴見区役所と協力し、区のマスコットキャラクター「つるりっぷ」の「LINE スタンプ」を開発・販売しました。家族で使うシーンに特化したスタンプです。「スタンプショップ」→検索「つるりっぷ」→「クリエイターズ(1)」で販売中です！

また今年は、鶴見区の広報を目的に開発した「つるりっぷパン」を販売します！販売期間8年目を迎える本校の定番商品、かつ鶴見区の名物です。今年から新たに「メロンパンバージョン」も加わりました。SBP 参加2年目！宜しくお願い致します！



和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」

商品開発から地域づくり・人づくりへ

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足し2015年度に創立100周年を迎えた学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科からなり、経営科学科では1年次は共通履修とし、2年次から「社会科学」「会計」「ビジネス」「生活文化」の4つの系列に分かれて興味・感心に応じた学習に取り組んでいます。

平成24年度より、課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

開発した商品をPRするだけでなく、各種イベントへの参加を通して企画や運営に携わる事の重要性を考えるようになり、様々なイベントの企画・運営もおこなっています。これからも商品開発だけでなく商品開発を基にそこから地域とつながり、主体的な活動によって自分達自身が成長できるような取り組みを考えていきたいと思ひます。



島根県立吉賀高等学校地域クラブ なか吉プリン

～地元の食材を使った商品開発～

昨年度から企画を始めたこのプリンですが、きっかけは毎年7月に行われる吉賀高校のオープンスクールに来校する中学生に「お土産を持たせよう!!」というところから始まりました。

吉賀高校では5年前から地域クラブの先輩が企画し、地元のスーパーマーケットと協働して商品化にこぎつけ人気商品にもなった「吉高ライスバーガー」があります。

そして、このライスバーガーに次ぐ新しい商品として、地元の食材を使ったものという思いから、最初は地元の豆腐屋さんと一緒に「豆乳プリン」を作り始めました。しかし、乳製品を商品化し、販売するまでの過程で様々なハードルがあり、なかなか思い通りには進みませんでしたが、ついに町内にある障がい者福祉施設の方と一緒に「なか吉ぷりん」を作り上げ、町内のお祭りで販売に至るまでになりました。私たちの目標はこのプリンが町内のお店でいつでも購入できる商品になることです。今回限定で200個のプリンを作ってきたのでぜひ食べてみてください。



愛媛県立大洲農業高等学校 大農蕎麦‘S(そば一ず)

地域の伝統的食文化を守る！ 愛媛からそばの食文化を発信します！！

私たちの住む愛媛県大洲市は豊かな海の食材、山の食材に恵まれた地域です。日本三大芋煮や鵜飼いが有名で昔から豊かな食文化が根付いている地域です。しかし、地域の食材を使った郷土料理や伝統食が今若者の間では忘れ去られようとしています。そこで、食品製造を専攻している私たちで、地域の伝統的な食文化の保護と継承に向けた活動を行っています。

地域の食文化として新たに注目したのが、そば文化です。3年前にそば栽培を応援する「蕎麦‘S(そば一ず)」を結成して、地域の方と蕎麦の栽培やそば打ちの交流会を行っています。今は、廃校となった小学校を利用して月に1回「そばCafé」をオープンさせ、私たちのそば打ちパフォーマンスと打ち立てのそばを食べていただいています。また、地域でそば打ちのできる人を増やすためのそば打ち講習会を開いています。

私たちの活動を通して地域に残る食文化を保護し、次代へつなげることで地域の活性化に繋がりたいと考えています。



沖縄県西原町

NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

私たちが西原町を元気に！

私たち NS²BP は沖縄県西原町在住の高校生で活動しています。

NS²BP とは、Nishihara Students Social Business Project の略でメンバーは県内 11 校から集まっており、琉球大学や地元の企業、西原町役場の連携協力のもと、幅広いジャンルの活動を行っています。

昨年度は人と人を繋ぐ「わ～輪・和～」のテーマのもと、ボランティアや販売などで地域の方々と積極的に関わることができました。

3月の首都圏研修では、普段とは違う環境で地元特産品の販売や文部科学省でのプレゼンなどの経験をしたことにより、今後の活動に向けた課題を知ることができました。

プロジェクトの一環として行った創作演劇では、NS²BP 応援団でもある、沖縄森永乳業株式会社を始めとした沢山の町内の企業に協力していただき PR することができました。

今年度から活動は 5 年目に入り、新たに 5 期生を迎えました。そこで新たに設定したテーマ「Fire ～燃えるような挑戦～」のもとこれからも西原町の活性化に向けて頑張っていきます。



皇學館大学茶道部・茶道受講生および高校学校茶道部による「夜の市」お茶会

大学と高校の茶道部が連携して「おもてなし」

総合指導：皇學館大学現代日本社会学部特別招聘教授 茶道裏千家名誉師範 浅沼 博
参加茶道部：三重県内の希望する高校大学の各茶道部

(伊勢高校、伊勢工業高校、志摩高校、南伊勢高校南勢校舎、皇學館高校、皇學館大学)

茶道部は、礼儀を重んじ、おもてなしの心で活動しています。

今回のフェアでは、「夜の市」に特設ブースを設け、高校茶道部と大学茶道部および茶道受講生が一つのお茶会をコラボして行う、「おもてなしのお茶会」を開催します。普段は、それぞれの学校の部活の中で“茶道のわざと心”を学んでおりますが、皆様と交流をしながらお茶の楽しさ、豊かさを多くの方々にご紹介できればと考えました。

また、お茶に欠かせないお菓子は、伊勢二見名物の塩饅頭をお出しする予定です。(おいしいですよ！)

「夜の市 お茶会」で、素敵な時間を一緒に過ごしましょう。





伊勢
名物

赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) ファクシマール0120-081381
<http://www.akafuku.co.jp/>



つくるひとになろう。

Adobe Creative Cloud



アドビ システムズ 株式会社 www.adobe.com/jp/

ワクワクする毎日を。

ENCHANTÉ

株式会社アンシャンテ

〒510-8034 四日市市大矢知町 1425-6
TEL 059(361)2040 FAX 059(363)3569



NTT GROUP

エヌティージェット株式会社

〒444-1314 愛知県高浜市論地町五丁目1-10
TEL.0566-52-0020 FAX.0566-52-5303

エヌティーツール株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-54-0101 FAX.0566-54-0111

エヌティエンジニアリング株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目3-21
TEL.0566-52-0015 FAX.0566-52-4148

エヌティ精密株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-52-5173 FAX.0566-52-5191

NTT
docomo

40万人以上のクラスメイトが君を待っている。
さあ行こう。わくわくする学びの世界へ。

無料で学べる高校生向け SBP[※] 講座が
gacco で9月より募集開始！
その他の講座も盛りだくさん！

(※SBP…Social Business Project)



- gacco -

〒 468-0014

愛知県名古屋市天白区中平 5-1002-1

株式会社 O.R.コーポレーション

セブン-イレブン名古屋植田一丁目店
セブン-イレブン名古屋大清水一丁目店
セブン-イレブン名古屋中汐田店
セブン-イレブン中京競馬場前店
セブン-イレブン豊明栄町大根店

市場 → 加工 → 物流 → お店

豊かな海で獲れた旬の魚を現地で手づくり加工しています

毎週、三重から車で新鮮な魚介をお届け♪

生産地から直接届いた、旬の食材をお店に配送！

お店まで運ばれた食材は、子どもたちも安心して食べられます

ゲイトは **生産地から** 取り組む、運ぶ、未来を創る

一緒に未来を創るメンバーを募集中！

知人友人の紹介入社をおすすめします。
グループ内のお知り合いやご友人を探してみてください。



株式会社ゲイト



公式サイト



Facebook



Twitter



Instagram

Japan to the NEXT

皇學館 DAY 2018

皇學館大学・高等学校・中学校
合同学校説明会を津市にて開催します。
どうぞお気軽にお越しください。

学校法人 皇學館

皇學館高等学校吹奏楽部第11回定期演奏会

9.17 [月・祝] 開催時間 [予定] 14:00 ~ 19:00

場所 三重県文化会館 大ホール

内容

- 学校相談会(中学校・高等学校・大学)[無料]
14:00 ~ 16:00
- 皇學館高等学校吹奏楽部 第11回定期演奏会
15:30 [開場]/16:00 [開演] ~ 19:00 (終了予定)

[入場料: 800円]
※チケット発売に関しては高校HPにてご案内します。

問い合わせ 吹奏楽部定期演奏会 (前川・丹羽・石本)
Tel. 0596-22-0205

みんなでまこう! 幸せの種

 「こんにちは!」というふれあいの種

 「どうぞ!」という思いやりの種

 「ありがとう!」というよろこびの種

《幸せの種》を一粒でも多く
周りの人々にまいていきましょう

SYD 伊勢青少年研修センター
SYD ホームページ <http://syd.or.jp/ise>



SYD (公益財団法人 修養団) は、
「愛と汗」を信条に、
青少年の健全育成を柱とした社会教育事業を展開しています。

『人 x 技術』で、企業の生産性を変える。



株式会社チェンジ
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-17-1
TOKYU REIT虎ノ門ビル6階
TEL 03-6435-7343 FAX 03-6435-7339
<http://www.change-jp.com>



株式会社 **デンソープレステック**

高浜工場 〒444-1301 愛知県高浜市新田町 5-1-5 TEL: 0566-53-5115



Website

人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

おかげさまで140年
今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

明治11(1878)年11月19日 創立

 百五銀行

FRONTIER BANKING

インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING

調査
業務

- 調査研究・地域活性化支援
地方公共団体等が抱える課題に対して、
ご支援・コンサルティングを行います。
- 地域経済・産業動向調査
地域経済、産業動向、経済波及効果など
を調査しています。

コンサル
ティング
業務

- 経営改善支援
- 賃金・人事・雇用管理
- 教育・研修・講師派遣
- マネジメントシステム導入支援
- BCPコンサルティング
- PFI・PPP手法の導入・事業実施支援

幅広い分野で、お客さまのニーズにお応えします。

会員
制度

- 百五経営情報クラブ
(特別会員、一般会員)
総研懇話会、商談会・ビジネスマッチング、
ビジネスセミナー、経済講演会、勉強会開催
教育研修用DVDの無料貸出、定期刊行物など
- 情報セキュリティコンサルティング
(情報セキュリティ会員)

主な定期
刊行物



三重県経済のあらし 三重県会社要覧 貸金統計ガイド

HRI 株式会社
百五総合研究所

TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380

URL <https://www.hri105.co.jp/> E-mail info@hri105.co.jp



すべての生活者、家庭、組織にデジタル化の価値を提供し 完全につながったインテリジェントな世界を実現していく

ファーウェイ（漢字表記：華為技術）は1987年に中国・深圳（シンセン）で設立された民間企業で、世界170カ国以上で情報通信のソリューションを提供しています。

2015年に設立されたファーウェイ・ジャパンは、震災復興支援、環境保全、人材育成支援などの活動を通じ日本の未来づくりにも貢献しています。



華為技術日本株式会社
(ファーウェイ・ジャパン)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファースト
スクエア ウェストタワー12階
代表電話番号：03-6266-8008
<https://www.huawei.com/jp/sustainability>



探求は進むべき道を照らす

イノベーションの飽くなき追求が、世界に知性をもたらす

プラトンホテル 四日市



宿泊 TEL.059-352-0300

宴会 TEL.059-352-0301

- 所在地 三重県四日市市西新地 7-3
- 交通 近鉄四日市駅北口より徒歩 3分
- 駐車場 33台

プラトンホテル



platon.hotel



プラトンホテル四日市



視点は、多いほどいいのです。



さまざまな視点で見る。
いろいろな角度から見る。と、
今まで気がつかなかった
ビジネスアイデアが
ビジネスチャンスが。
—— わたしたちの原点。

www.mitsubishicorp.com



お部屋探しは レオパレス21!

家具・家電

家具・家電付きだから引越しがラク。
すぐに新生活をスタート!
※物件により仕様が異なります。



テレビ カーテン テーブル エアコン

洗濯機 冷蔵庫 電子レンジ

セキュリティ

充実したセキュリティで、初めての
ひとり暮らしや女性の方でも安心。
※物件により設置状況、提携会社が異なります。



モニター付きインターホン 防犯カメラ オートロックゲート

インターネット

面倒なプロバイダ契約をすることなく利用できます。

インターネットの基本プラン

スタンダードプラン ¥2,268 (税込)

●インターネット使い放題 (Wi-Fi 接続可) ●約5万本の作品から映画やドラマが見放題 ●安心設定サポート

インターネット&エンタメを楽しむなら!

プレミアムプラン ¥3,240 (税込)

●インターネット使い放題 (Wi-Fi 接続可) ●CSプラス (単品:月額2,057円税込) が見放題 ●約5万本の作品から映画やドラマが見放題さらにレンタルチケット1枚付き※1 ●安心設定サポート

WOWOW&インターネットのプラン

プラチナプラン ¥4,536 (税込)

●インターネット使い放題 (Wi-Fi 接続可) ●WOWOW (単品:月額2,484円税込) が3ch見放題 ●安心設定サポート

※1サービス内の「チケット」マークが付いた作品が対象です。※物件によりご利用いただけません。※サービス内容は予告なく変更する場合がございます。※その他、詳細はレオパレス21ホームページをご確認ください。



お部屋探しのお問い合わせは

株式会社 レオパレス21

本社 / 東京都中野区本町 2-54-11
宅地建物取引業者免許 / 国土交通大臣免許 (10) 第 2846 号
賃貸住宅管理業者登録制度 / 国土交通大臣 (1) 第 4726 号



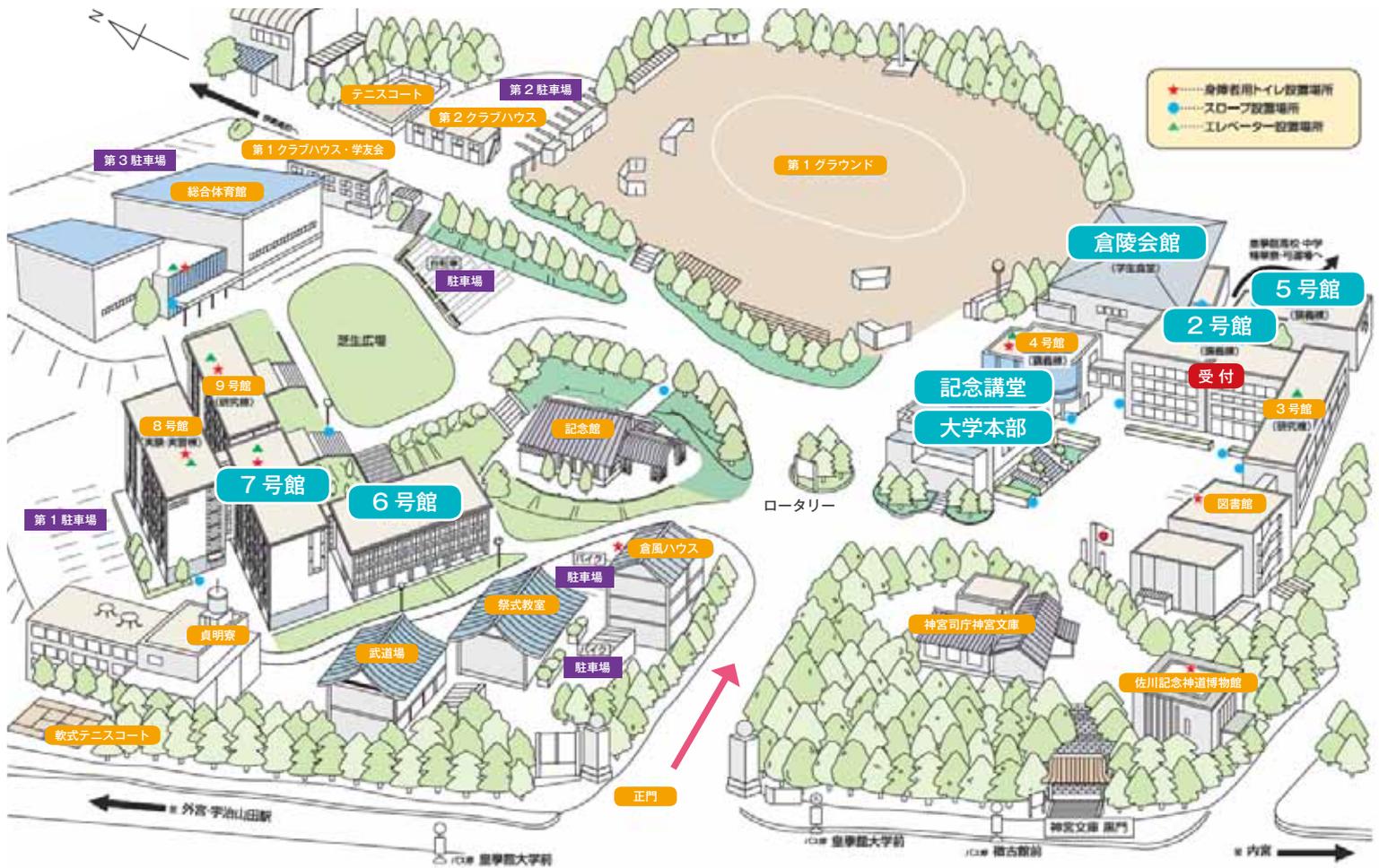
0120-922-421



2018.07

営業時間 10:00 ~ 19:00

会場MAP



2号館

1F 玄関ホール

8月17日(金)
・受付 AM11:00 ~

1F 211 ~ 212 教室

8月17日(金)
・ポスターセッション

2F 221 教室

8月17日(金)
・ポスターセッション

3F 233 教室

8月17日(金)
・ポスターセッション審査会場

5号館

512 教室

・各校荷物取

6号館

2F 622 教室

8月18日(土)
・SBP セミナー

7号館

1F 711 ~ 712 教室

8月18日(土)
・WS 2 (アドビ(株)提供)
・WS 3 (株ゲイト提供)

4F 741 教室

8月18日(金)
・WS 4 (実行委員会提供)

倉陵会館

2F 学生食堂

8月18日(土)
・WS1 (株レオパレス21提供)
・昼食
・バイキング交流会

記念講堂

8月17日(金)
・オープニングセレモニー
8月18日(土)
・チャレンジアワード開会式
・オールセッション
・講演
・結果発表、表彰式
・閉会式

Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会

共催 文部科学省